

平成22年6月10日

新中川橋梁整備事業について

1 概要

新中川に架かる葛飾区所管の橋梁は4橋（高砂諏訪橋・細田橋・三和橋・八剣橋）あり、三和橋については、現在新橋に架替え中である。残る3橋についても、架橋から約50年が経過しており、治水・耐震設計等の基準改定や設計寿命・損傷劣化状況等から、架替え事業を検討することとなった。

検討にあたっては、平成20年度に発足した『新中川沿川橋づくり協議会』の中で、架替え優先度や橋梁形式等について検討が行われ、全体整備方針及び各橋梁の整備イメージが決定された。平成21年度には、各橋梁の事業スケジュールや河川法・道路法に基づく具体的な検討を行い、新中川橋梁整備実施計画としてまとめた。

また、実施計画の策定により、区が管理している橋長15m以上の主要橋梁18橋について、修繕や架替え計画について定めた「橋梁長寿命化修繕計画」に新中川3橋の事業スケジュールを追加・修正する。

2 新中川各橋梁の現況

橋梁の名称		橋長	幅員	架設時期	形式
高砂諏訪橋	車道橋	135.0m	4.5m	昭和35年6月 (50年経過)	コンクリート橋
	人道橋	137.6m	2.75m	昭和53年3月 (32年経過)	鋼橋
細田橋	車道橋	119.0m	4.5m	昭和35年6月 (50年経過)	コンクリート橋
	人道橋	120.3m	2.75m	昭和54年3月 (31年経過)	鋼橋
八剣橋	車道橋	119.5m	4.5m	昭和34年3月 (51年経過)	鋼橋
	人道橋	120.3m	2.75m	昭和51年3月 (34年経過)	鋼橋

3 協議会での検討経過

平成20年7月8日に発足した住民参加型の「新中川沿川橋づくり協議会」（地元6町会代表、周辺小・中学校関係者及び葛飾区）において、下記の項目を様々な角度から検討し意見交換を行った。

【平成20年度】

- (1) 新中川沿川地域と既設橋梁の状況把握
- (2) 新中川橋梁架替計画の検討
- (3) 新中川橋梁架替優先度の検討

【平成21年度】

- (1) 各橋梁の平面・縦断線形及び断面構成の検討
- (2) 各橋梁形式の検討
- (3) 架替え事業スケジュールの検討
- (4) 事業パンフレットの検討

4 今後の検討課題

新中川橋梁整備事業は、多くの費用と期間を必要とするが、特に財源確保のため国庫補助導入の検討が必要である。

また、平成22年度は、新中川沿川橋づくり協議会の下部組織として「八剣橋橋づくり検討部会」を設立し、河川管理者、交通管理者、道路管理者等の関係機関との協議・調整を進めた上で、詳細な道路線形や橋梁のデザイン（橋桁、高欄、街灯、橋詰など）について検討を行っていく。

5 今後のスケジュール

対象橋梁	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
八剣橋	設計	←---																	
	工事		←-----→																
細田橋	設計					←---													
	工事						←-----→												
高砂諏訪橋	設計											←---							
	工事												←-----→						

【参考資料】 事業パンフレット「水辺の街を育む みんなの橋」